

# とうきょうすくわくプログラム活動報告書

保育園番号 66-0959  
園名 うめのき保育園

## 1. 活動のテーマ

《テーマ》

観劇会

《テーマの設定理由》

観劇会を友達と一緒に観た刺激から、自由遊びの中で友だちと再現をしてみたり、相談して劇ごっこをする。

## 2. 活動スケジュール

11月 劇団風の子さんによる「風的一座」という観劇会を2歳児クラスと幼児クラス、姉妹園のこのはな保育園と楽しむ。その後、子どもたちで、観劇会を思い出して会話をしたり、再現して遊ぶ姿が見られた。

## 3. 探究活動の実践

《活動の内容》

11月13日

劇団風の子さんによる「風的一座」という観劇会を2歳児クラスと幼児クラス、姉妹園のこのはな保育園で楽しむ。30分という長い時間であったが、劇団の方たちの豊かな表情や、変化する構成(環境)に、“何が始まるんだろう”と、じーっと見入ったり、驚いたり、大笑いしたり、思い思いに楽しんでた。

子どもたちの遊びに繋がる風の子さんに、今回の劇で使用した素材を伺い購入する。

11月18日

劇中で、出てきたタンポポの綿毛に使用していた紙が届いたので、園庭で幼児クラスで遊んでみた。「風の子さんと一緒だね。」「とんだー!」「難しい〜」「ふわふわしてる。」等、友だちと遊び、感じた事を対話し楽しんでた。

11月22日～

幼児クラスの自由遊びで、創作劇や絵本を題材に年中・長で劇ごっこで遊ぶ姿が出てくる。誰が、どの役をする?、どの場所でする?、どうやってお客さんを呼ぶ?等、子どもたちで相談をしながら進めていた。年少は、お客さんで参加していた。



### 振り返り（保育士の気づき）

日常の中でも、お話やペープサートを行っているが、観劇会を鑑賞する子どもたちの姿（期待と共に集中する・大笑いする・驚くetc）を通して、本物に触れる事は子どもたちの心を動かすことに繋がるのだと感じた。又、共通体験から感情を共有する子どもたちの姿も見られた。イメージの共有が難しい子ども同士も、一緒に体験する事で、今の楽しさを一緒に感じる事ができる事は、相手理解や仲間関係の広がりにも影響を及ぼすと感じた。共通体験が刺激になり、「風の子さんは、大きなたんぽぽ持ってたね。」等、各々の記憶をたどり、対話をし、思いの調整をしながら再現遊びをする姿も見られた。五感を通して感じた体験を、子どもたちが、様々な形で消化をしていくプロセスは、おもしろくもあり興味深かった。